

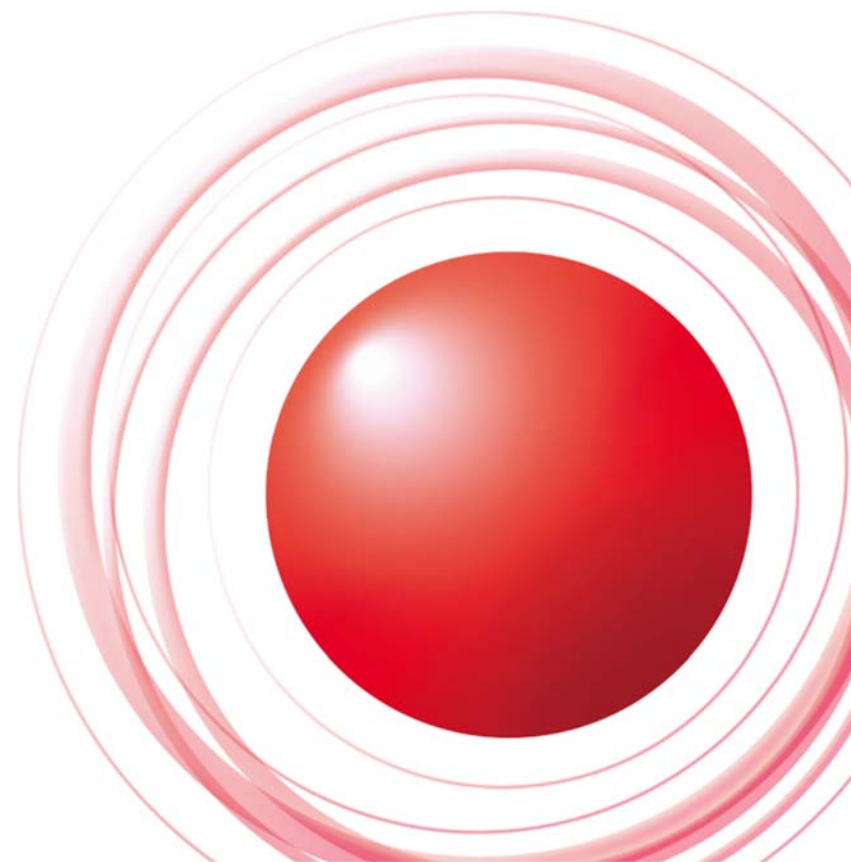
平成28年3月期 第2四半期 決算短信〔米国会計基準〕（連結）  
（別紙）参考資料：「2016年3月期第2四半期（平成28年3月期）連結業績説明会資料」

# 2016年3月期 第2四半期 連結業績説明会



株式会社インターネットイニシアティブ (証券コード:3774)  
2015年11月9日

Ongoing Innovation



# アジェンダ

I . 2016年3月期 第2四半期 総括

II . 2016年3月期 第2四半期 連結業績

III . ご参考資料

## I. 2016年3月期 第2四半期累計期間(1H15) 総括

	< 1H15実績 >		< FY15通期見通し >		%: 前年同期比
売上高	653.3億円	+14.3%	1,390億円	+13.0%	
売上総利益	117.1億円	+7.4%	251億円	+13.7%	
営業利益	25.6億円	+6.1%	65億円	+28.1%	
当期純利益	16.5億円	+14.4%	40億円	+20.4%	

**高増収率にて、期初増加コスト吸収し増益  
下期以降も売上継続増加による利益成長を展望**

(※) 15年9月末時点  
YoY=前年同期比 QoQ=前四半期比

### 2Q15業績 (3か月間)

- ◆売上338.7億円・3ヵ月年増率14.3%と高増収率維持: 1Q15 +14.2%、4Q14 +11.7%、3Q14 +8.2%、2Q14 +6.0% YoY
- ◆営業利益14.2億円 モバイルデータ通信料に係る一時的費用減処理による四半期変動有り: 2Q14 約+2.9億円、1Q15 約+2.7億円

### モバイル

#### 個人・法人ともに継続伸長: 個人向け市場活況、MVNE提供先増加

- ▶総回線数 93.4万<sup>(※)</sup>(+12.3万 QoQ)、個人向け回線数 60.5万<sup>(※)</sup>(+7.8万 QoQ)、MVNE回線数 13.6万<sup>(※)</sup>(+3.2万 QoQ)
- ✓iPhone6s等SIMロックフリー端末発売により10月以降ペース増加、OTA拡大・端末バンドル順次拡張・広告宣伝等強化
- ✓MVNE回線数大幅増加: CATV順次サービススタート、大手コンテンツ事業者等規模順次増加 (約80社提供中)
- ✓M2M需要引き続き旺盛 大口案件は長期傾向だが中小型案件を順次遂行、音声機能付SIM法人向けに提供開始 (15年9月)

### システム 運用保守

#### 企業のシステム投資意欲回復に伴い案件継続積み上げ

- ▶1H15プライベートクラウドを含むSI運用保守売上+23.7% YoY、システム構築含む案件受注額堅調推移 +17.5% YoY
- ▶仮想化プラットフォームVWシリーズ継続伸長、新クラウドサービス「IIJ GIO インフラストラクチャーP2」引き合い順調に積み上がり

### 国際事業

#### 積極的な事業展開でASEAN地域での取引機会拡大

- ▶上期はSI・国際WAN案件等を積み上げ、下期のコンテナDC外販案件を遂行中、インドネシアでのクラウドJV 等

### サービス 開発

#### サービス開発・ラインアップ拡充を継続遂行

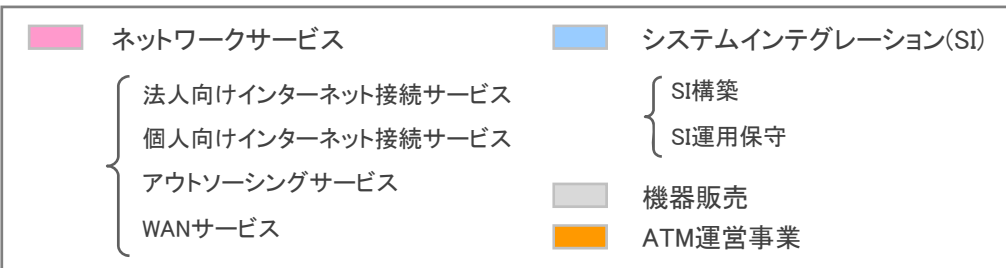
- ▶新サービス「IIJ Omnibus サービス」(15年9月)・「IIJ GIO インフラストラクチャーP2」(15年11月)提供開始
- ▶セキュリティサービスの需要増加、標的型メール攻撃対策等サービスラインアップ継続拡充

## Ⅱ-1. 2016年3月期 第2四半期累計期間 実績サマリー

単位: 億円

	売上高比	売上高比	前年同期比 増減	売上高比	対1H15 見通し比	売上高比
	1H15 (15年4月～15年9月)	1H14 (14年4月～14年9月)		1H15見通し (15年4月～15年9月)		対1H15 見通し比
売上高	653.3	571.7	+14.3%	640.0	+2.1%	1,390
売上原価	82.1% 536.3	80.9% 462.7	+15.9%	—	—	81.9% 1,139
売上総利益	17.9% 117.1	19.1% 109.0	+7.4%	—	—	18.1% 251
販売管理費等	14.0% 91.4	14.8% 84.9	+7.7%	—	—	13.4% 186
営業利益	3.9% 25.6	4.2% 24.2	+6.1%	3.8% 24.5	+4.6%	4.7% 65
税引前 四半期純利益	4.1% 26.5	4.4% 24.9	+6.2%	3.8% 24.0	+10.3%	4.6% 64
当社株主に帰属する 四半期純利益	2.5% 16.5	2.5% 14.4	+14.4%	2.3% 15.0	+10.2%	2.9% 40

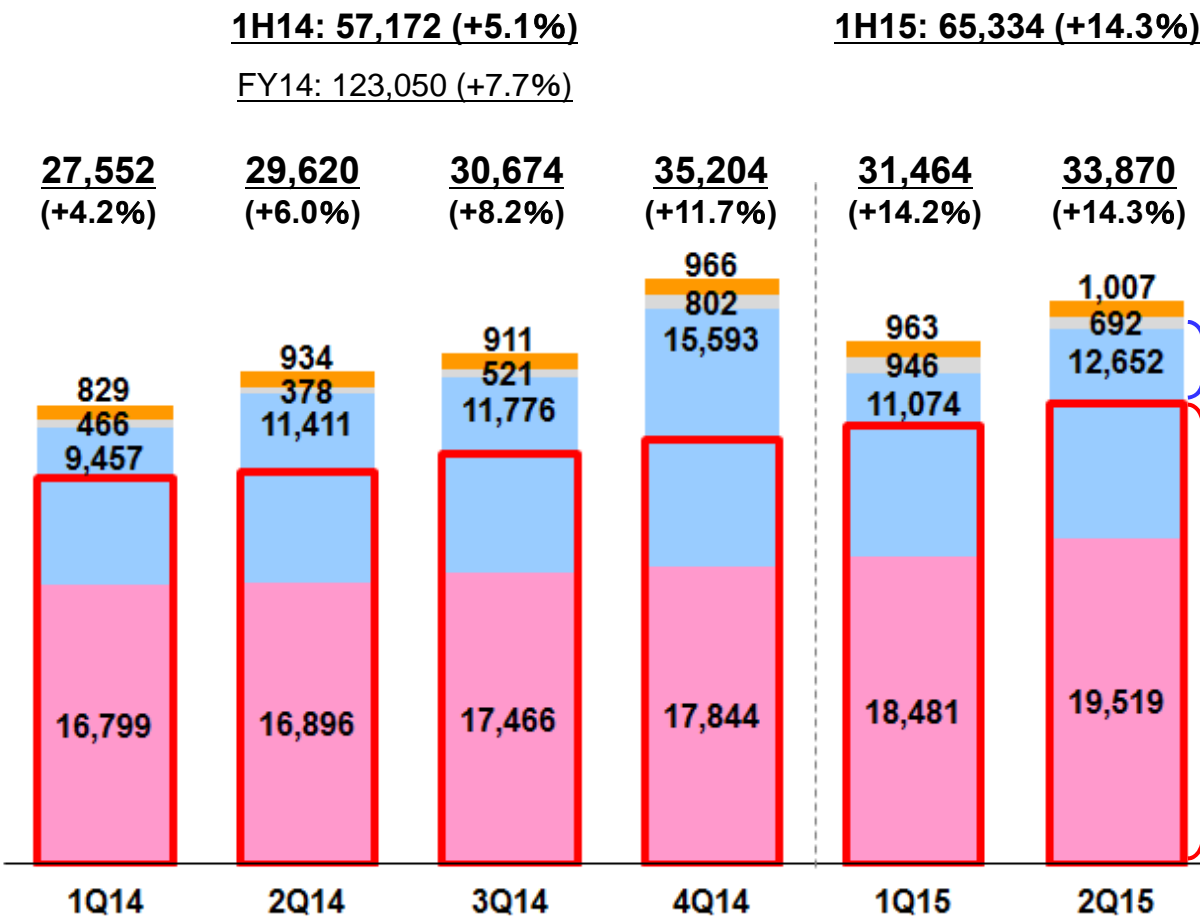
## Ⅱ-2. 営業収益(売上高)の推移



単位: 百万円

YoY=前年同期比

( ) 前年同期比



### 一時売上\*

1H15: 9,281百万円( +6.5% YoY)  
 1H14: 8,713百万円(+10.2% YoY)  
 (1H15売上構成比: 14.2%)

\* 検収時(システムが完成し引き渡すタイミング)に一括計上される売上

- ①SI構築
- ②機器販売

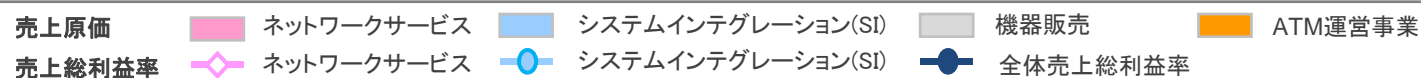
### ストック売上\*

1H15: 54,082百万円(+15.8% YoY)  
 1H14: 46,696百万円( +3.5% YoY)  
 (1H15売上構成比: 82.8%)

\* 継続提供にて月次計上される恒常的売上

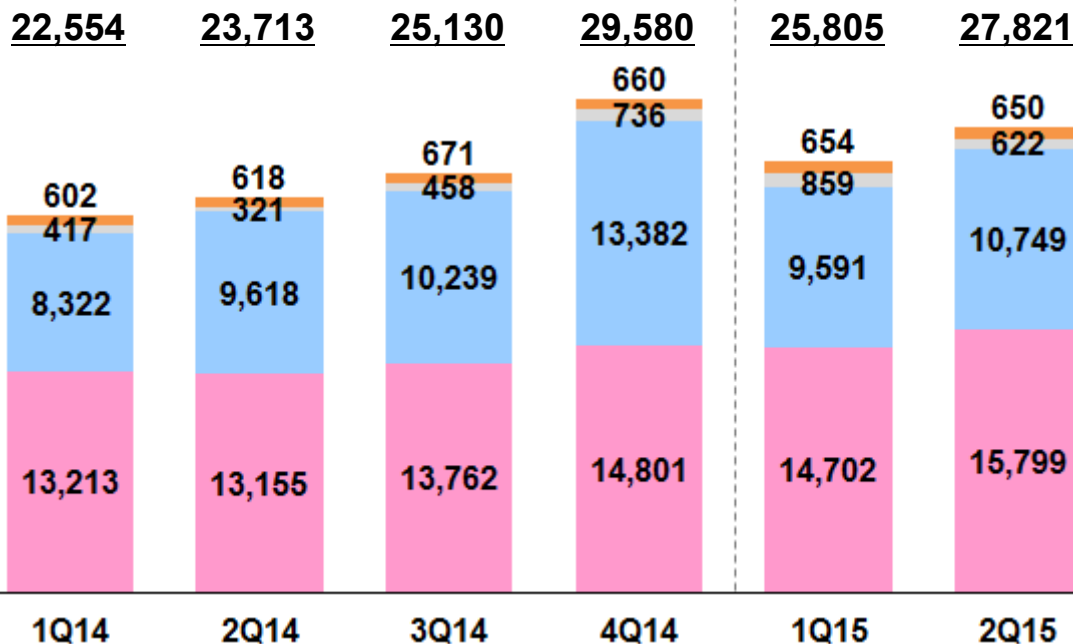
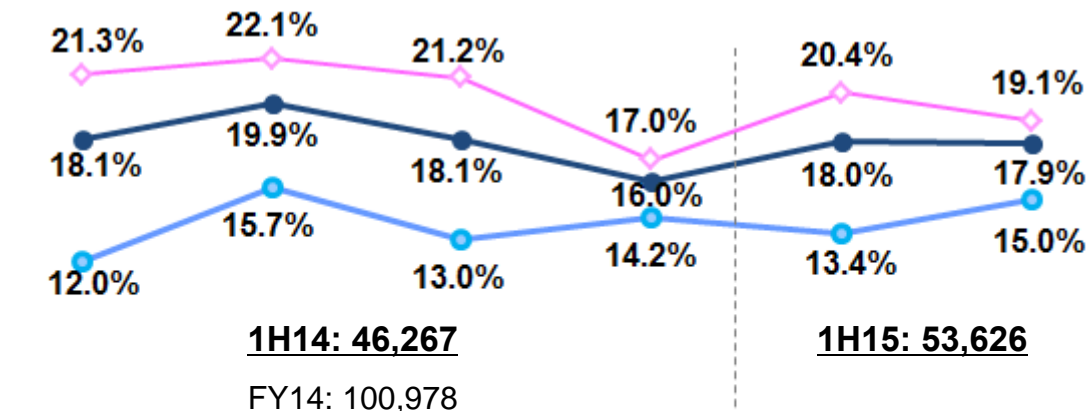
- ①インターネット接続サービス(法人・個人)
- ②アウトソーシングサービス
- ③WANサービス
- ④SI運用保守

## Ⅱ-3. 売上原価・売上総利益率の推移



単位: 百万円

YoY=前年同期比



### 1H15売上総利益

#### ◆全体

- ▶売上総利益: 11,708百万円(+803百万円・+7.4% YoY)
- ▶売上総利益率: 17.9%(△1.2ポイント YoY)

#### ◆ネットワークサービス

- ▶売上総利益: 7,498百万円(+171百万円・+2.3% YoY)
- ▶売上総利益率: 19.7%(△2.0ポイント YoY)
- ▶モバイルデータ通信料の過年度遡及減額・四半期変動を除外<sup>(\*)</sup>したネットワークサービスの実質粗利率推移は以下の通り:

単位: %

1Q14	2Q14	3Q14	4Q14	1Q15	2Q15
20.7	20.3	20.6	19.0	19.0	19.1

<sup>(\*)</sup>1Q15の約2.7億円、2Q14の約2.9億円の一時的費用減影響を除外し、FY14において期中通じデータ通信料前期比23.5%減(最終確定値)を適用し計算

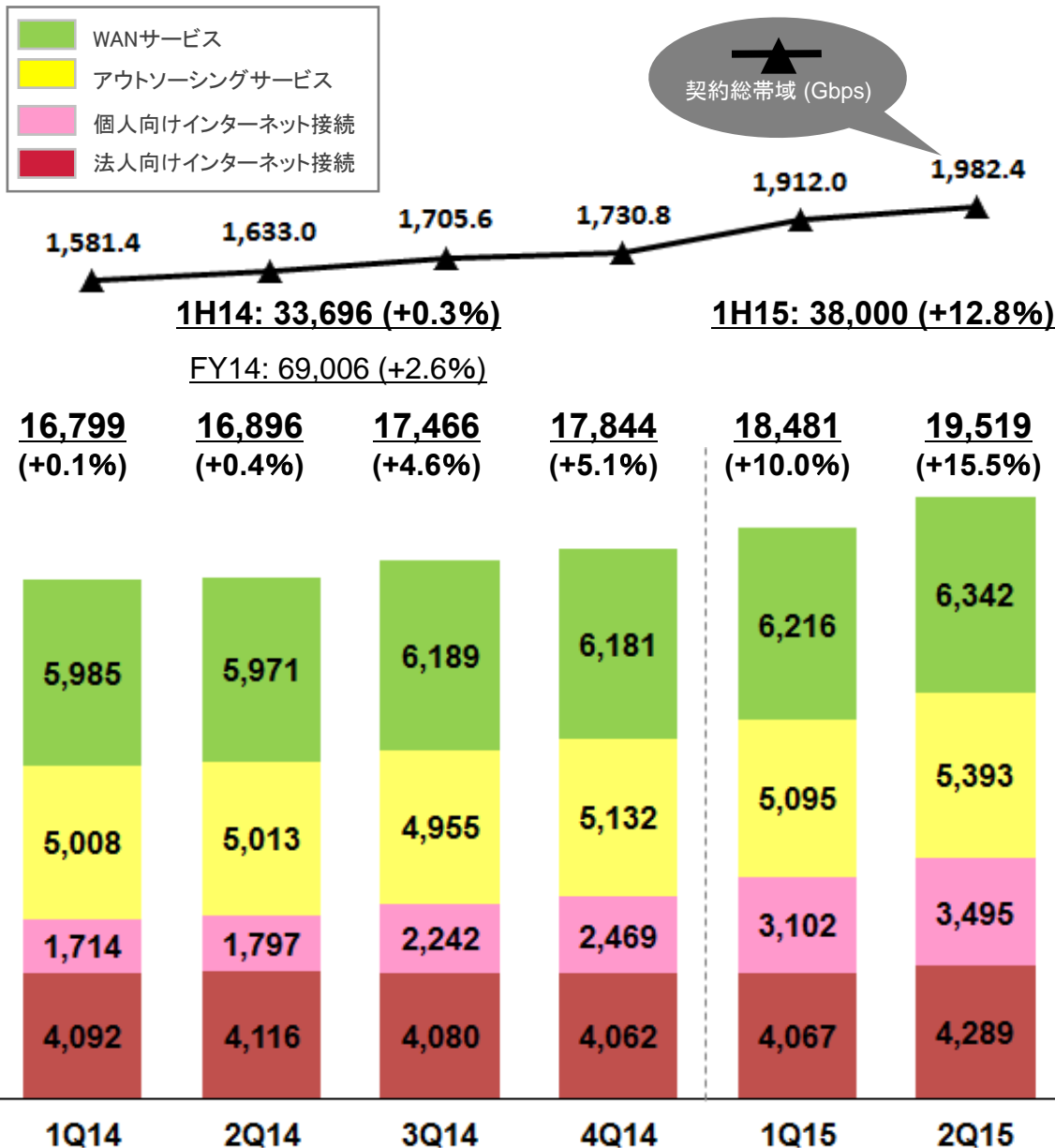
#### ◆SI

- ▶売上総利益: 3,385百万円(+456百万円・+15.6% YoY)
- ▶売上総利益率: 14.3%(+0.2ポイント YoY)

#### ◆ATM運営事業

- ▶売上総利益: 666百万円(+123百万円・+22.7% YoY)
- ▶売上総利益率: 33.8%(+3.0ポイント YoY)

## Ⅱ-4. ネットワークサービス ① 売上高の推移



単位: 百万円

YoY=前年同期比  
QoQ=前四半期比

( ) 前年同期比

### ◆1H15 法人向けインターネット接続

- 8,357百万円(+149百万円・+1.8% YoY)
- ・モバイルサービス売上継続増加
- ・2Q15末Gbps超契約件数: 343件(+38件YoY)
- ・2Q15IPサービスは1Q比増収に転換

### ◆1H15 個人向けインターネット接続

- 6,597百万円(+3,086百万円・+87.9% YoY)
- IIJmio高速モバイルサービスの継続伸長
- ・回線数: 2Q15末 60.5万 (+35.9万 YoY・+7.8万 QoQ)
- ・売上高: 1H15 45.7億円(+30.7億円 YoY)  
2Q15 24.7億円(+3.8億円 QoQ)
- ・季節性にて2Q15純増数は1Q比若干弱め、iPhone6s販売等で10月以降ペース増加

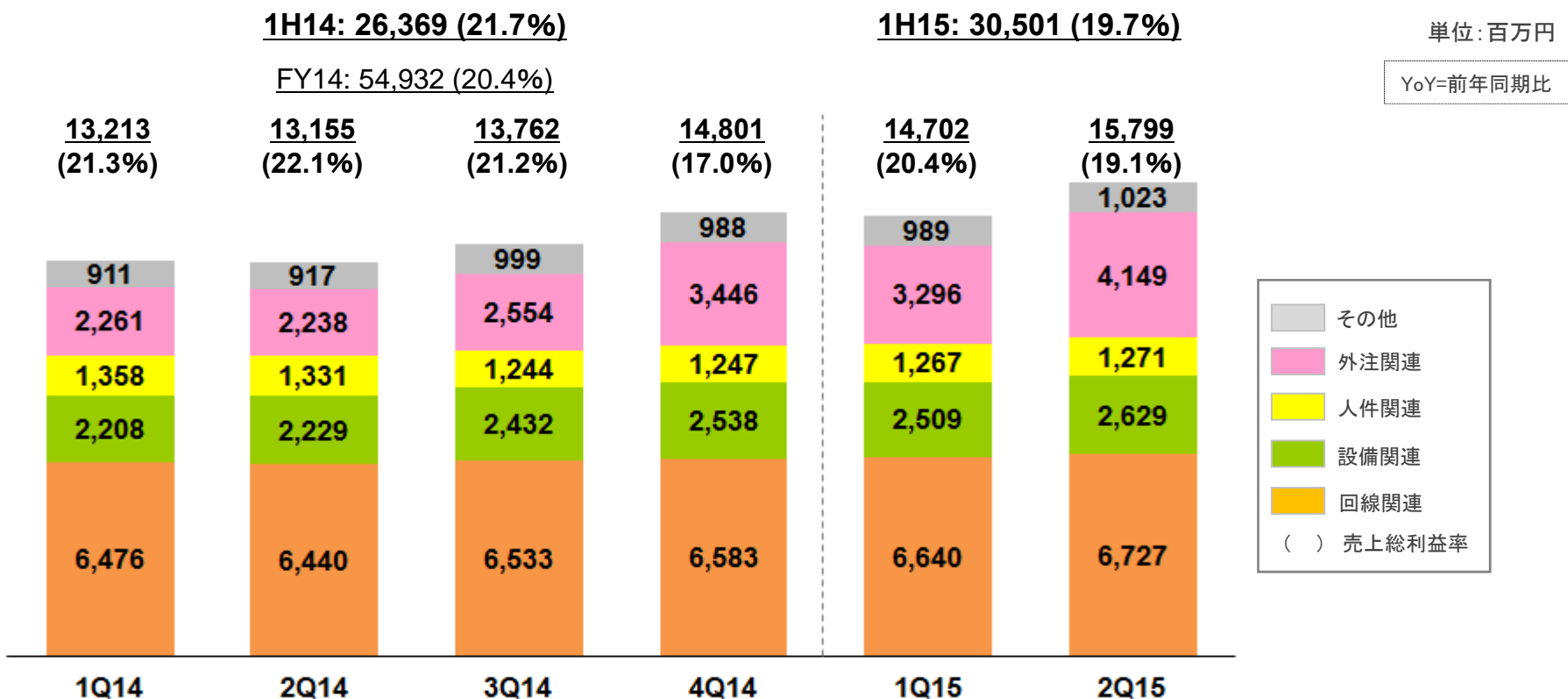
### ◆1H15 アウトソーシングサービス

- 10,489百万円(+468百万円・+4.7% YoY)
- セキュリティ関連サービス需要増・海外ホスティングサービス等増加

### ◆1H15 WANサービス

- 12,558百万円(+601百万円・+5.0% YoY)
- 期初の大口顧客減額なく案件積み上げで増収

## Ⅱ-4. ネットワークサービス ② 原価の推移



◆ 1H15 ネットワークサービス原価: +4,133百万円・+15.7% YoY

- モバイル契約回線数・トラフィック増加に伴い、モバイルデータ通信料(外注関連)増加
- 設備関連費はネットワーク100Gbps化・モバイル設備増強等より、+702百万円 YoY、3Q以降も新サービス開始等に伴い若干増の見込み
- 回線関連費はWAN売上増加等より、+451百万円 YoY

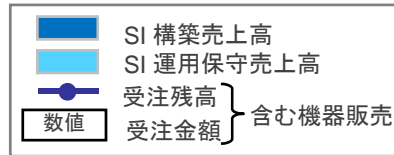
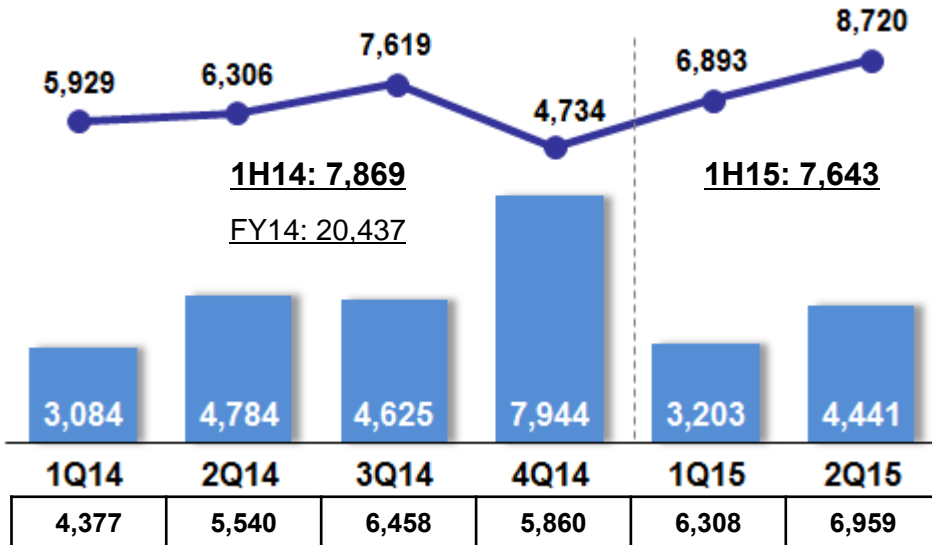
◆ MVNOに係わるデータ通信料(MNOの提供するモバイルインフラコスト)の取り扱い等

- FY2013費用実績に基づく定額通信料(帯域単価)は15年3月に前年比23.5%減と改定
- FY2014費用実績に基づく定額通信料は16年3月頃に改定予定、FY2015は期初より定額通信料前年比25%減での支払い猶予運営
- FY2015 IJ利用データ通信料は過去実績等をもとに定額通信料前年比15%減想定で期中費用処理
- FY2014 IJ利用データ通信料について定額通信料の前年比15%減想定で1Q15にて約2.7億円の一時的費用減有り、FY2014においては2Q14にて約2.9億円の同様費用減との実績



## Ⅱ-5. システムインテグレーション(SI) ① 売上高・受注等の推移

### <SI 構築>



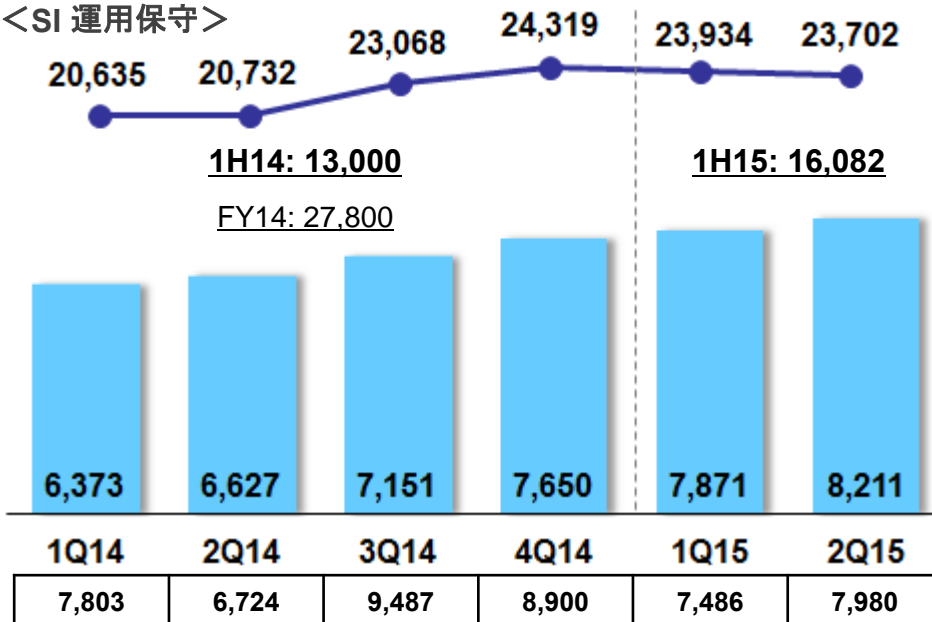
単位: 百万円

YoY=前年同期比

### SI 構築売上高

- ◆ 1H15売上:  $\Delta 226$ 百万円・ $\Delta 2.9\%$  YoY
  - 売上規模は1H14とほぼ同等、景気復調にて案件数・規模は前期を上回り推移、受注拡大中
- ◆ 2Q15受注:  $+1,419$ 百万円・ $+25.6\%$  YoY
  - 景気回復傾向により、受注は引続き好調
  - 2Q受注の大型SI案件:
    - ・大手銀行向けDDoS環境バージョンアップ構築
    - ・大手小売企業向けグローバルマーチャンダイジングシステム仮想化基盤構築
    - ・大手旅行代理店向けバックオフィスシステム構築 等
  - 2Q15受注残高には、1Q15受注の大口ネットワークインテグレーション案件(約21億円/件)含む

### <SI 運用保守>



### SI 運用保守売上高

- ◆ 1H15売上:  $+3,082$ 百万円・ $+23.7\%$  YoY
  - プライベートクラウド売上継続伸張( $+1,128$ 百万円・ $+24.2\%$  YoY)、システム構築からの運用案件売上も強い伸び( $+1,954$ 百万円・ $+23.5\%$  YoY)
- ◆ 2Q15受注:  $+1,256$ 百万円・ $+18.7\%$  YoY
  - 2Q15クラウド売上全体の85%がSI運用保守に計上(15%はアウトソーシングに計上)

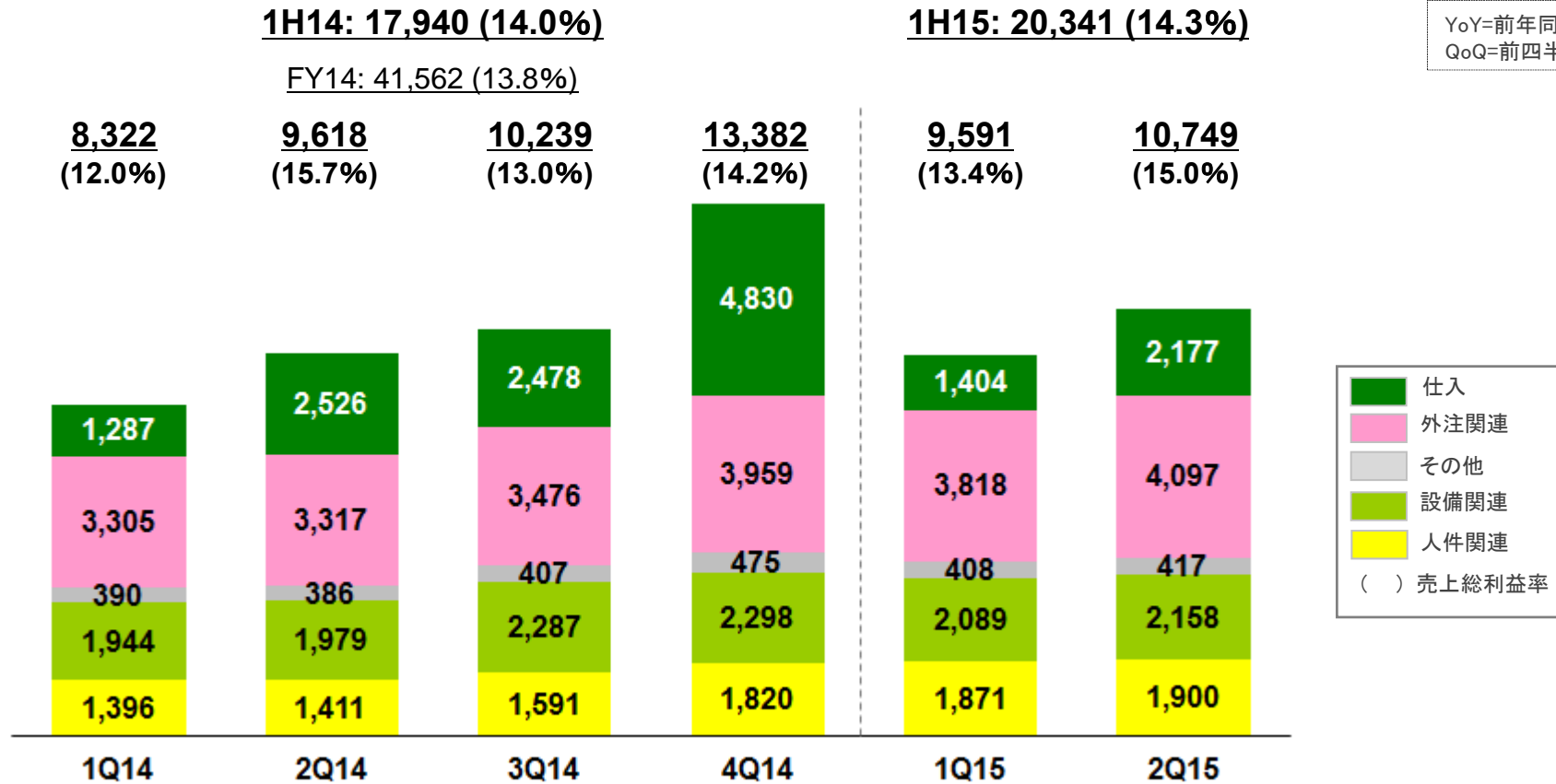
### <国際事業>

1H15 売上 約24.0億円、損失 約 $\Delta 4.2$ 億円  
(1H14 売上 約22.0億円、損失 約 $\Delta 4.6$ 億円)

## Ⅱ-5. システムインテグレーション(SI) ② 原価の推移

単位: 百万円

YoY=前年同期比  
QoQ=前四半期比

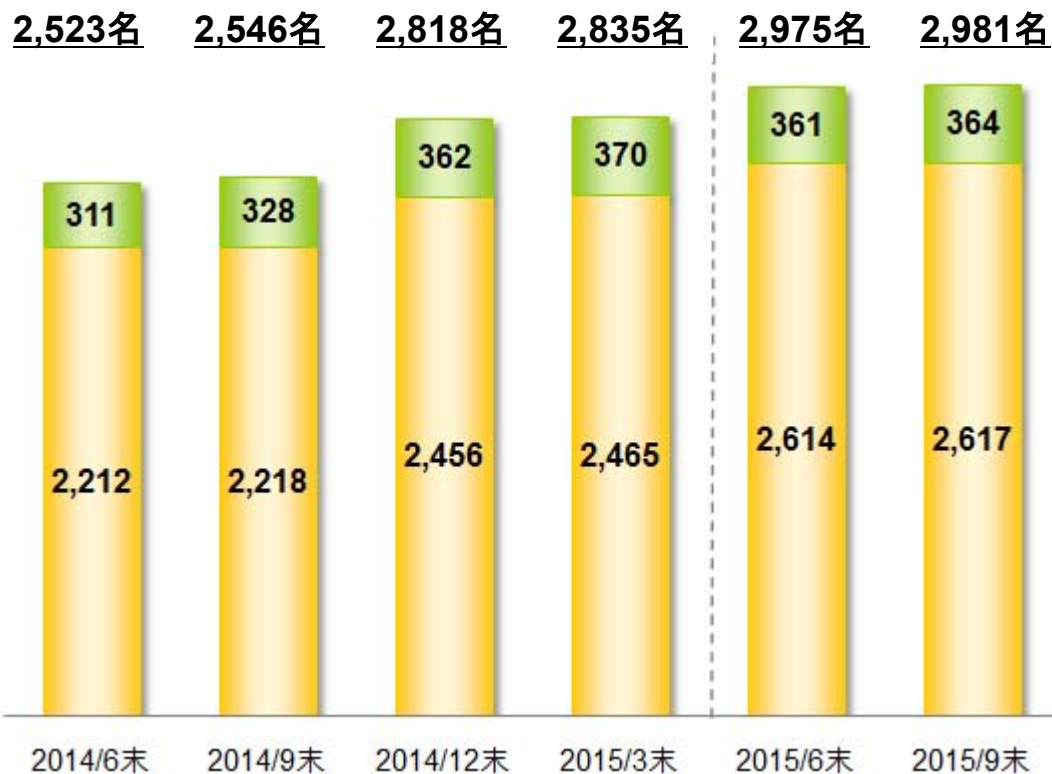


- ◆ 1H15 SI原価: +2,401百万円・+13.4% YoY
  - 2Q15末外注人員数: 979名 (+72名 YoY、△6名 QoQ)
  - 構築案件数増加・運用案件積み上げにて外注関連費増加
  - 新サービス・ソリューション開発推進により外注関連・人件関連費増加
  - 2Q15で損失引当約30百万円(1件)計上
  - 3Q以降も新サービス「IIJ GIO インフラストラクチャーP2」提供開始(15年11月)に伴い設備関連費(減価償却等)増加見込み

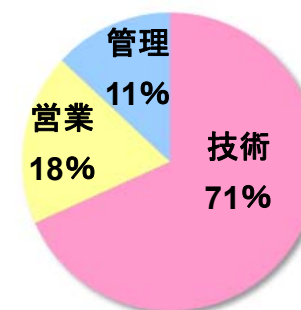
## Ⅱ-6. 連結従業員数の推移

単位: 百万円

YoY=前年同期比



<分野別人員構成>



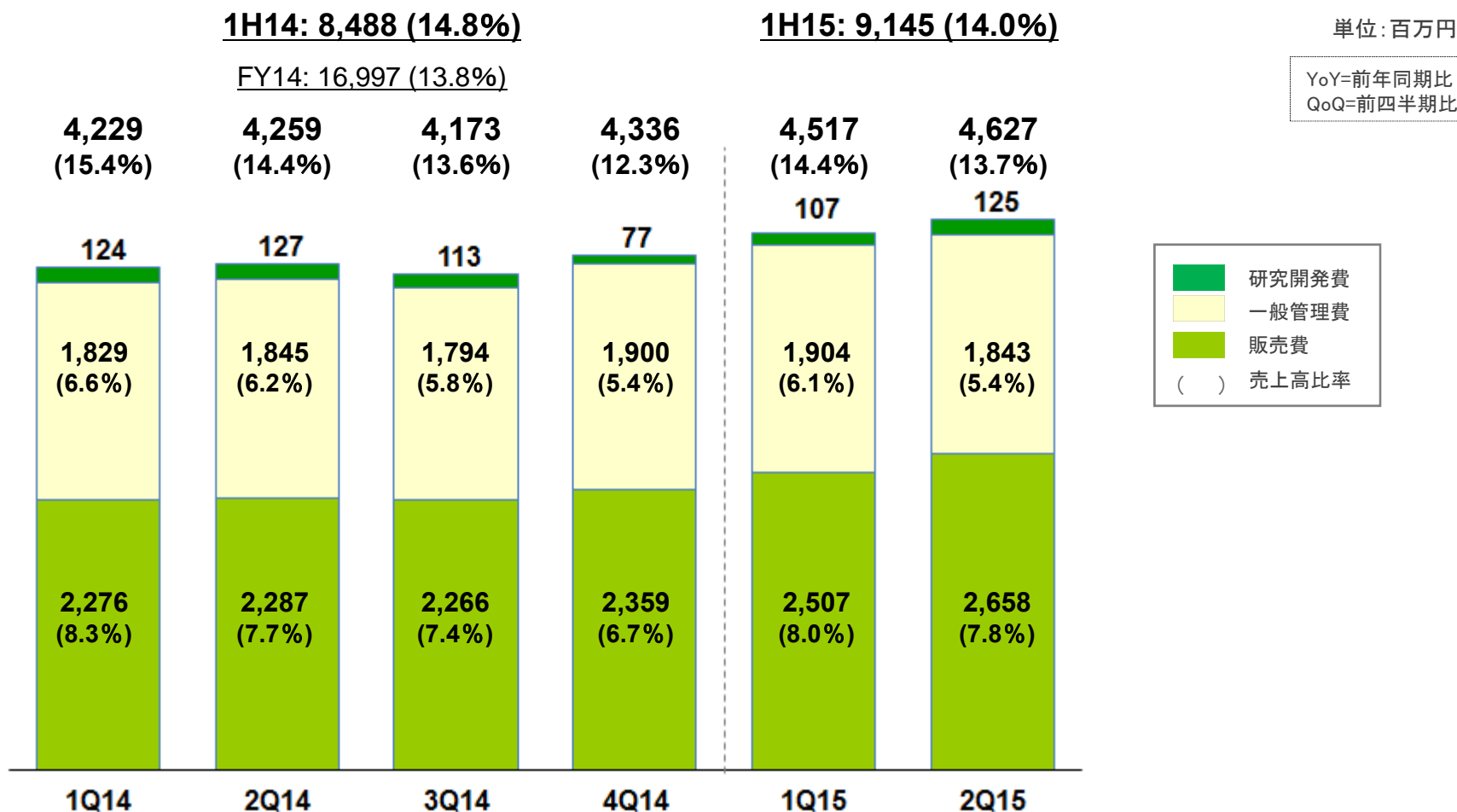
人件関連費用総額  
(売上高比率)

	1Q14	2Q14	3Q14	4Q14	1Q15	2Q15
人件関連費用総額	4,641	4,643	4,704	5,114	5,266	5,297
(売上高比率)	(16.8%)	(15.7%)	(15.3%)	(14.5%)	(16.7%)	(15.6%)

単位: 百万円

- ◆ 1H15総人件関連費用: 10,563百万円 (+1,279百万円・+13.8% YoY)
- ◆ 竜巧社ネットウエアM&A (14年12月1日付)により3Q14従業員数(+264人)・人件関連費用増加
- ◆ 15年4月入社新卒社員数: 155名(14年4月: 129名、13年4月: 136名)、16年4月入社新卒予定数: 128名
- ◆ 人員数は計画内で推移

## Ⅱ-7. 販売管理費・研究開発費(SG&A)の推移



- ◆ 1H15 販売管理費等: +656百万円・+7.7%YoY
  - 人件関連費用、モバイルサービス販売手数料等増加
  - 販売手数料等で計画比若干上振れ推移
- ◆ 2Q15 販売管理費等: +110百万円・+2.4%QoQ
  - モバイルサービス販売手数料、広告宣伝費等増加

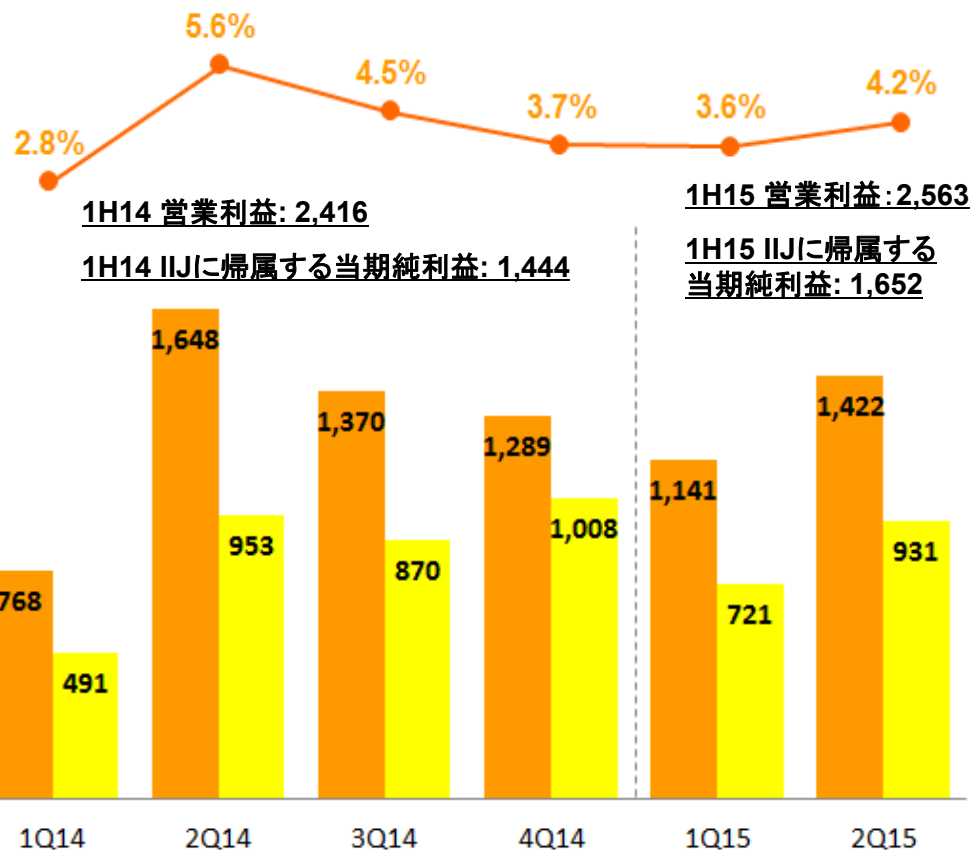
- ◆ ATM運営事業にかかる販売管理費: 単位: 百万円
- | 1Q14 | 2Q14 | 3Q14 | 4Q14 | 1Q15 | 2Q15 |
|------|------|------|------|------|------|
| 37.6 | 45.4 | 45.9 | 73.4 | 44.9 | 45.1 |
- 15年9月末 設置済ATM台数 1,097台

## Ⅱ-8. 営業利益・当期純利益の推移

■ 営業利益 
 ■ 当社株主に帰属する四半期純利益 
 ● 営業利益率

単位：百万円

YoY=前年同期比



### ◆ 営業利益:

- 2Q15: 1,422百万円 (△226百万円・△13.7% YoY)
- 2Q14にモバイル接続料遡及減額約2.9億円の一時費用減影響あり(1Q15に約2.7億円の同様費用減影響あり)

### ◆ 税引前四半期純利益:

- 1H15: 2,647百万円 (+156百万円・+6.2% YoY)
- 受取配当金: 74百万円
- ファンド運用益: 115百万円
- 支払利息: 112百万円
- 1Q15為替益は2Q15為替損でほぼ打消し

### ◆ 当社株主に帰属する四半期純利益:

- 1H15: 1,652百万円 (+208百万円・+14.4% YoY)
- 主としてインターネットマルチフィードに係わる持分法投資利益: 137百万円
- トラストネットワークス等に係わる非支配持分利益: 92百万円

1Q14	2Q14	3Q14	4Q14	1Q15	2Q15	
220	624	523	319	450	472	法人税・住民税・事業税等
132	98	36	△55	111	6	法人税等調整額※
34	35	46	40	61	76	持分法投資損益
△18	△24	△15	△18	△57	△35	控除- 非支配持分に帰属する四半期純利益

※ 法人税等調整額の△は法人税・住民税・事業税等のマイナス

## Ⅱ-9. 連結バランスシート(サマリー)の状況

	15年3月末	15年9月末	前期末比増減
現金及び現金同等物	21,094	20,098	△ 995
売掛金	22,252	20,067	△ 2,184
たな卸資産・前払費用(短期・長期)	7,835	10,079	+2,243
持分法適用関連会社に対する投資	2,561	2,657	+97
その他投資	6,661	6,395	△ 266
有形固定資産	29,370	32,651	+3,281
のれん・その他無形固定資産	10,111	9,918	△ 193
敷金保証金	2,800	2,815	+15
<b>資産合計</b>	<b>108,705</b>	<b>110,806</b>	<b>+2,101</b>
買掛金・未払金	13,626	14,159	+533
未払法人税等	499	799	+300
短期借入金	9,250	9,250	-
リース債務(短期・長期)	7,863	8,467	+604
<b>負債合計</b>	<b>45,862</b>	<b>46,852</b>	<b>+990</b>
資本金	25,500	25,509	+10
資本剰余金	36,014	36,032	+18
利益剰余金(△欠損金)	△ 556	591	+1,147
その他の包括利益累計額	1,939	1,779	△ 160
<b>当社株主に帰属する資本合計</b>	<b>62,504</b>	<b>63,519</b>	<b>+1,015</b>

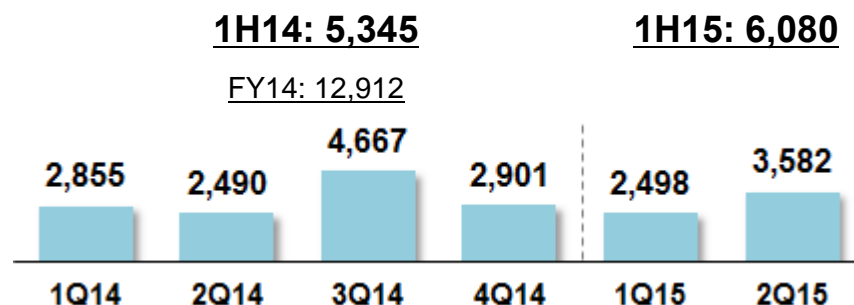
単位:百万円

▶ 当社株主に帰属する資本比率(株主資本比率): 15年3月末 57.5%、15年9月末 57.3%

## Ⅱ-10. 連結キャッシュ・フローの状況

### 営業キャッシュ・フロー

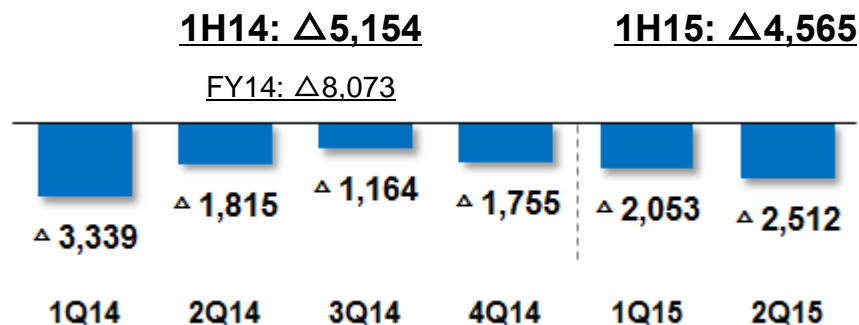
単位: 百万円



### 営業キャッシュ・フロー

	1H15主内訳	前年同期比
四半期純利益	1,744	+258
減価償却等	4,800	+117
その他の非資金損益	119	△191
営業資産及び負債の増減	△584	+552

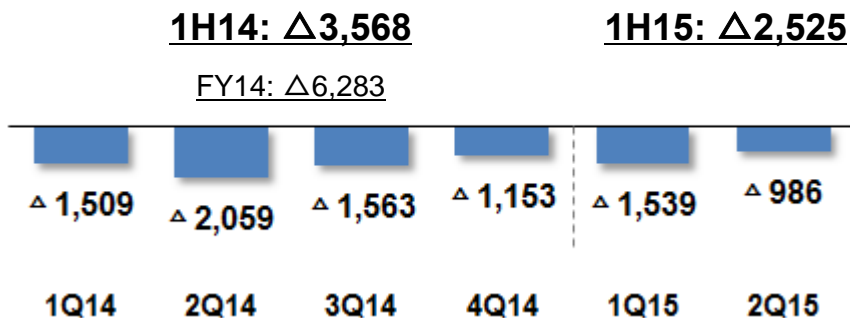
### 投資キャッシュ・フロー



### 投資キャッシュ・フロー

	1H15主内訳	前年同期比
有形固定資産の取得	△5,321	△1,311

### 財務キャッシュ・フロー



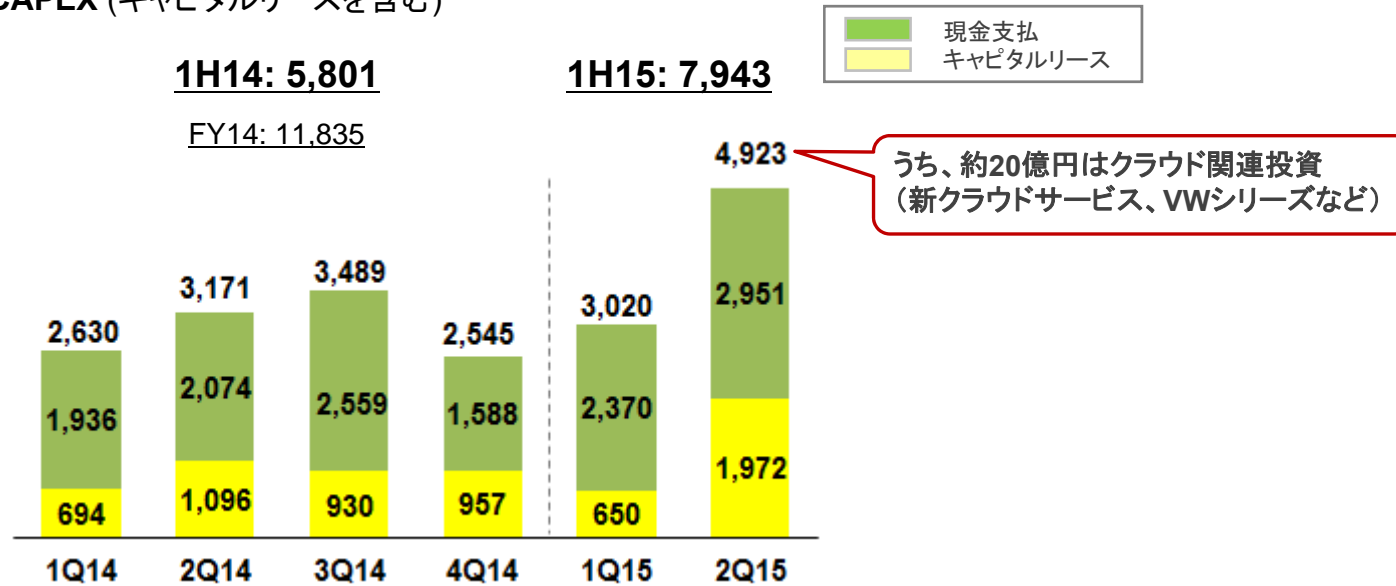
### 財務キャッシュ・フロー

	1H15主内訳	前年同期比
キャピタル・リース債務返済	△2,020	+63
配当金の支払	△505	△0

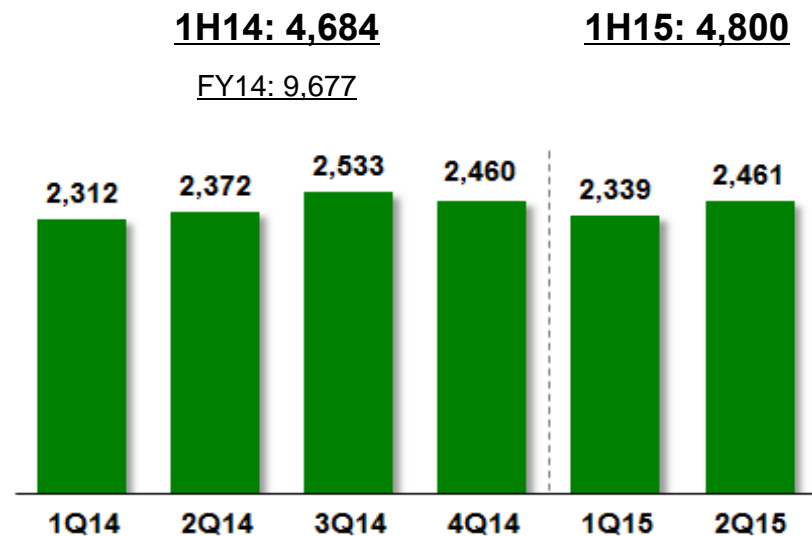
## Ⅱ-11. CAPEX・減価償却・Adjusted EBITDA の状況

CAPEX (キャピタルリースを含む)

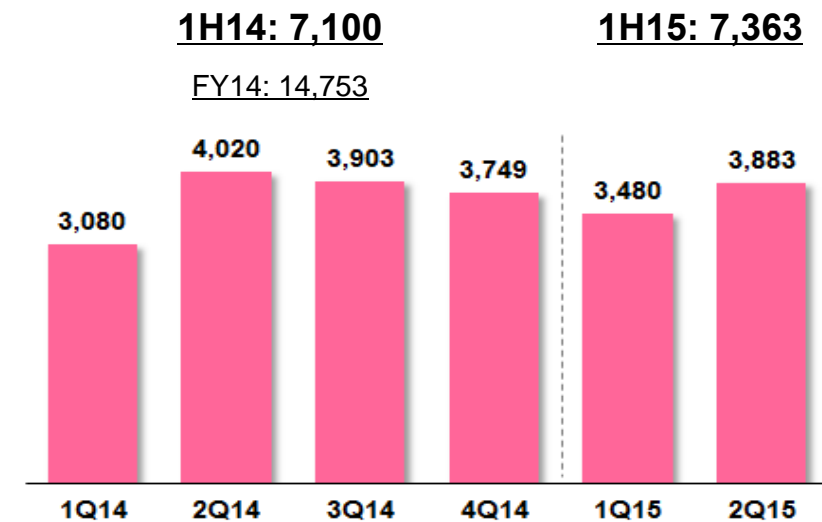
単位: 百万円



減価償却費等



Adjusted EBITDA (償却前営業利益)





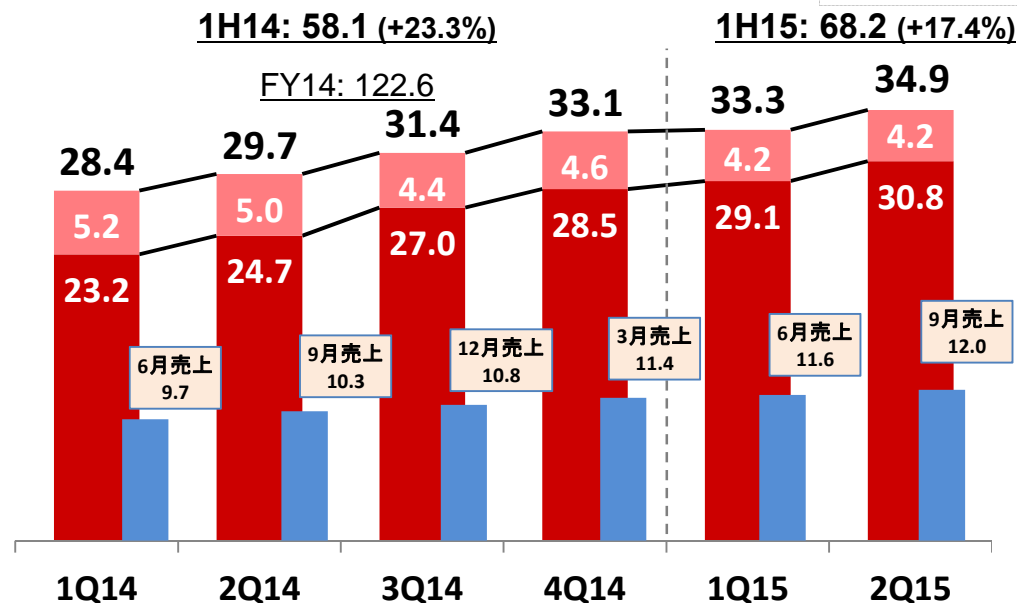
# Ⅲ-1. クラウドサービスの進展

IIJ GIO

## クラウド関連売上

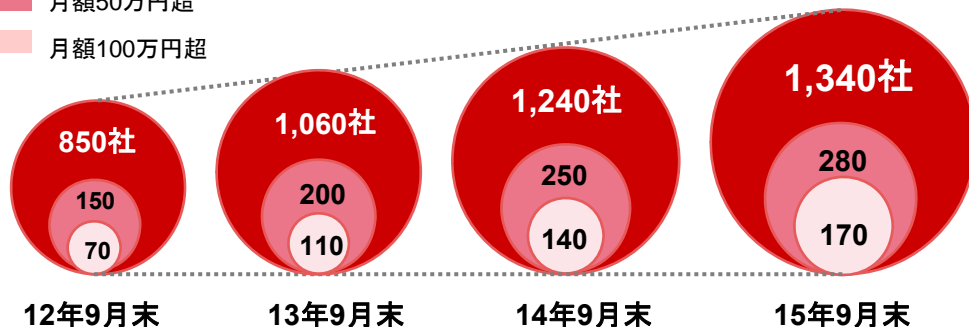
(単位:億円)

大ロゲーム顧客 2Q15クラウド関連売上計上区分: 85% SI運用、15% アウトソーシング  
 一般事業法人顧客 ( ) 前年同期比



## 顧客基盤

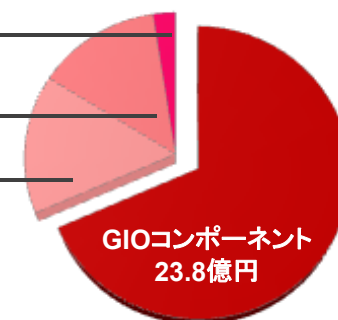
月額50万円超  
 月額100万円超



## 2Q15売上内訳

(単位:億円)

汎用アプリSaaS 0.8  
 (サイボウズガールーンSaaS他)  
 特定業務SaaS 5.2  
 (FX、POS等)  
 GIOホスティング 5.1



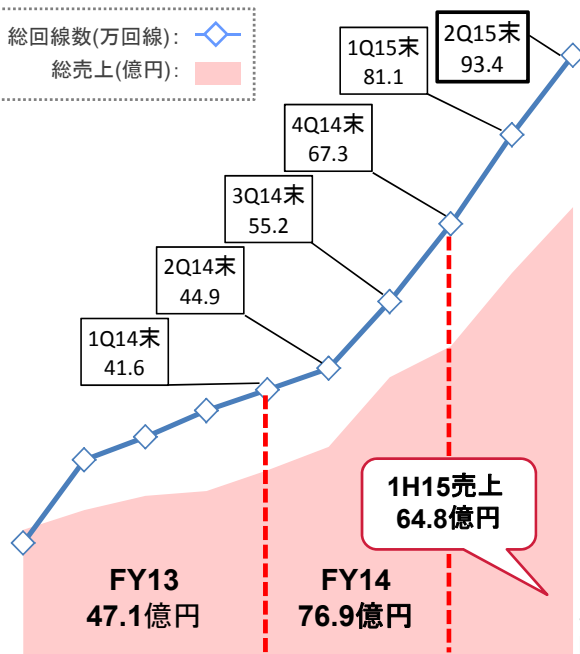
## 事業進捗

- **2Q15売上:**
  - ✓VMware仮想化プラットフォームサービス継続伸長
  - ✓大ロゲーム顧客売上規模は1Q並み
- **新クラウドサービス(15年11月):**
  - ✓「IIJ GIO インフラストラクチャーP2」引き合い100件超 月額数千万円規模案件も、下期~中期で売上寄与期待
    - 基盤システムクラウド化、次期基幹系インフラ、新規ビジネス基盤、ハイブリッドクラウド化案件等
- **IIJ Raptorサービス:**
  - FinTech<sup>(※)</sup>事業として10年11月よりFXシステムのASP サービスを提供中、野村証券・ソニー銀行等の大手証券・ネット銀行をカバー。為替変動により取引機会・従量見合い売上増加

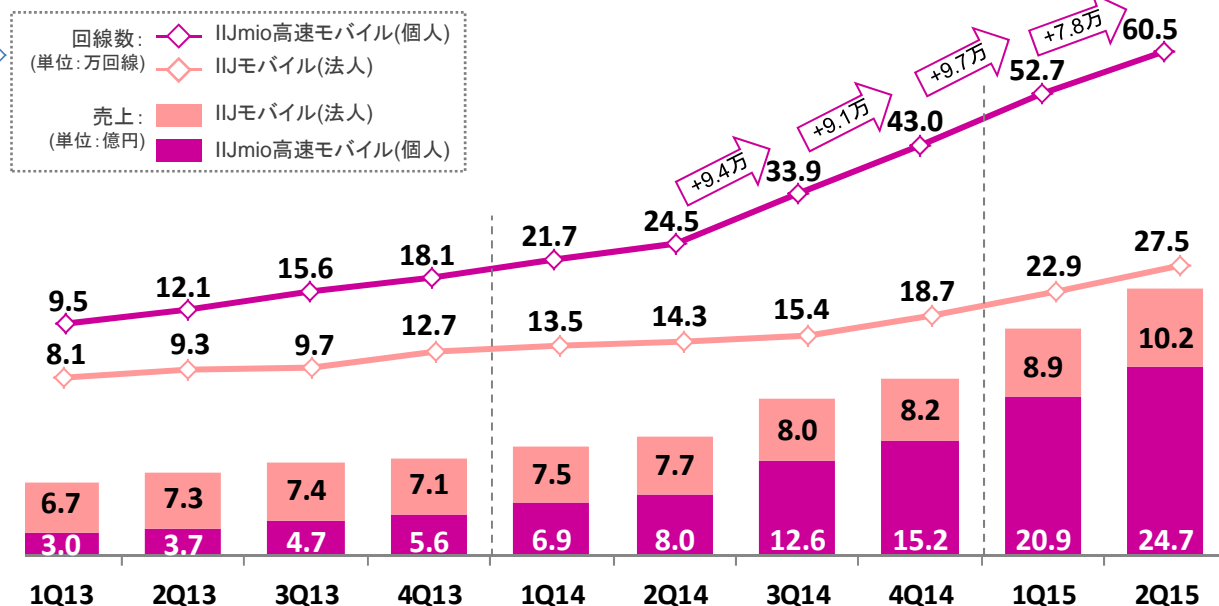
(※) FinTech: 金融(Finance)技術(Technology)を合わせた造語であり、金融分野向けITサービスなどのことを指す。

## Ⅲ-2. モバイルサービスの進捗

### モバイル総回線数・総売上



### IIJmio高速モバイル・IIJモバイルの回線数・売上

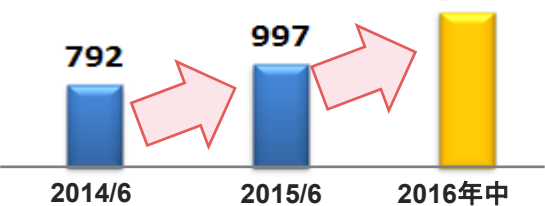


1Q15より、過年度分含め「IIJモバイル MVNOプラットフォームサービス」の回線数(除khio分)、「MVNE回線数」を、法人モバイル回線数に加算。  
 【MVNE回線数推移】1Q14: 3.5万回線、2Q14: 3.6万回線、3Q14: 4.0万回線、4Q14: 6.7万回線、1Q15: 10.4万回線、2Q15: 13.6万回線

### MVNO市場 (MNOを除くMVNO)

単位: 万回線

市場活況、拡大継続を見込む **1,500** 総務省目標値



上記数値は、SIM型・モジュール型・単純再販型を含むMVNO回線数推移、IIJmio高速モバイルはSIM型に該当  
 (出展: 総務省 14年10月、15年9月)

### 個人

- **2Q15獲得回線数継続伸長**
  - ✓ iPhone6s等のSIMロックフリー端末発売により10月以降の回線獲得ペース増加
  - ✓ 品質維持で高い顧客満足度を維持
- **新たな事業展開**
  - ✓ 端末バンドルサービス、取扱い端末増加
  - ✓ 即日MNP(全国250店超)や自宅にてMNP手続き可能サービス等、利便性向上に注力
  - ✓ 訪日外国人向けプリペイドSIMカード販売

### 法人

- **MVNE需要引続き活況** YoY: 前年同期比
  - ✓ 1H15関連売上: 約7.7億円(+315.0% YoY)
  - ✓ 1H15末回線数: 約13.6万回線(+10.0万回線 YoY)
  - ✓ 1H15末提供先: 約80社(+60社超 YoY)
  - ✓ CATV事業者順次サービス開始、大手コンテンツ事業者も規模継続拡大
- **M2M案件積み上げ**
  - ✓ 1H15関連売上: 約2.6億円(+37.6% YoY)
  - ✓ サービス機能拡充にて更なるIoT・ビッグデータ等の需要取り込み強化、ネットワーク効率改善を狙う
- **音声機能付き SIM カード提供開始(15年9月)**

### Ⅲ-3. 2016年3月期連結業績見通し (変更なし:15年5月15日発表)

単位: 億円

	FY15見通し (15年4月～16年3月)		FY14実績 (14年4月～15年3月)		前期比増減	
営業収益 (売上高)	1,390		1,230.5		+159.5	+13.0%
売上総利益	251		220.7		+30.3	+13.7%
営業利益	65		50.8		+14.2	+28.1%
税引前当期純利益	64		51.4		+12.6	+24.5%
当社株主に帰属する 当期純利益	40		33.2		+6.8	+20.4%
一株当たり当社 株主に帰属する 当期純利益	87.07円		72.31円		+14.76	+20.4%
一株当たり配当金	22.00円 (年間)		22.00円 (年間)		-	-

## ※ 事業等のリスク

本資料には、1995年米国民事訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)の「セーフハーバー」規定に定義する「将来性の見通しに関する記述 (forward looking statements)」に該当する情報が記載されています。本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。現時点において想定しうる当社グループの主なリスク及び不確実性として、

- 1) 国内景気の低迷、経済情勢の変化等による企業のシステム投資及び支出意欲の低下、
- 2) サービスの利用が想定よりも進展しないまたは縮小することによる設備投資規模に対する収益性の悪化、
- 3) サービスの中断等による当社グループのサービスへの信頼性の低下及び事業機会の逸失、
- 4) ネットワーク関連費用、モバイル接続料、外注費、人件費等、費用規模の想定を超える増加及び変動、
- 5) リソース不足に起因する事業規模拡大の機会の逸失、
- 6) 競合他社との競争及び価格競争の進展、
- 7) 投資有価証券、営業権等ののれん資産の価値変動及び実現

等がありますが、これら及びその他のリスク及び不確実性については、当社グループまたは当社が、1934年米国証券取引法 (Securities Exchange Act of 1934)に基づき米国証券取引委員会に届出し開示している英文年次報告書(Form 20-F)及びその他の書類をご参照下さい。

## ※ お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ (財務部)

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2 飯田橋グラン・ブルーム

TEL: 03-5205-6500 URL: <http://www.ij.ad.jp/ir> E-Mail: [ir@ij.ad.jp](mailto:ir@ij.ad.jp)

